

過疎地域持続的発展計画の施策区分ごとの各種指標の実績に関する協議内容  
(説明に対する質疑・意見など)

(事務局)

数字での判断・評価は難しいが、109世帯という移住の数字はNHKに放映された影響もあり評価される数字ではあるが、移住施策に関して課題等があればご意見いただきたい。

(会 員)

過疎生活の不便さも楽しみつつ、バイタリティーのある方が多いなと感じるのですが、働く場所の提供(地域企業)・働く場所が少ないので、産業と移住の繋がりを模索しながら継続・発展と未来に向けての整備が必要ではないか。

(会 員)

個人契約のためトラブルや課題もある。空き家も老朽化し、行政が取壊しになる前に移住者が住むことによって家が生き、地域の治安や安全も確保されるのではないか。

(会 員)

紹介について「移住者を募集してます」「働き場所も紹介します」など1セットで紹介している市町村はあるのか。

(事務局)

お仕事バンクは他県である。松阪も5年程前に考えはあったが、松阪の場合だけかもしれないが、仕事の紹介・要求が全くない。皆さん家ありきでリモート・通勤・自営の方で職の問い合わせが殆どなく以外だった。ただ、これからは可能性があるのでコラボとか新しい施策を考えている。

(会 員)

テレビ報道などで民意移住の良い面ばかりが紹介されるが、その逆もあるので難しいテーマであると思う。

(オブザーバー)

他市で固定資産税の納税通知書の中に空き家バンクの情報を同封している。納税通知書発送後に多数の問い合わせがあるみたいで松阪市も同様の方法を考えてみてはどうか。

(事務局)

松阪市もチラシを同封している。

(会 員)

目標数値を達成している施策もあるが、修正等は考えているのか。

(事務局)

状況によって上がり下がりには常にあるが、令和7年度の数値を固定しその数値に向かって取り組んでいる。トータルでの指標の設定であるため目標設定を変更することは考えていない。ただし後期の5年間は、前期の5年間の数値を見ながらの目標設定になると考えている。

○過疎地域の持続的発展を考える会での協議の様子

